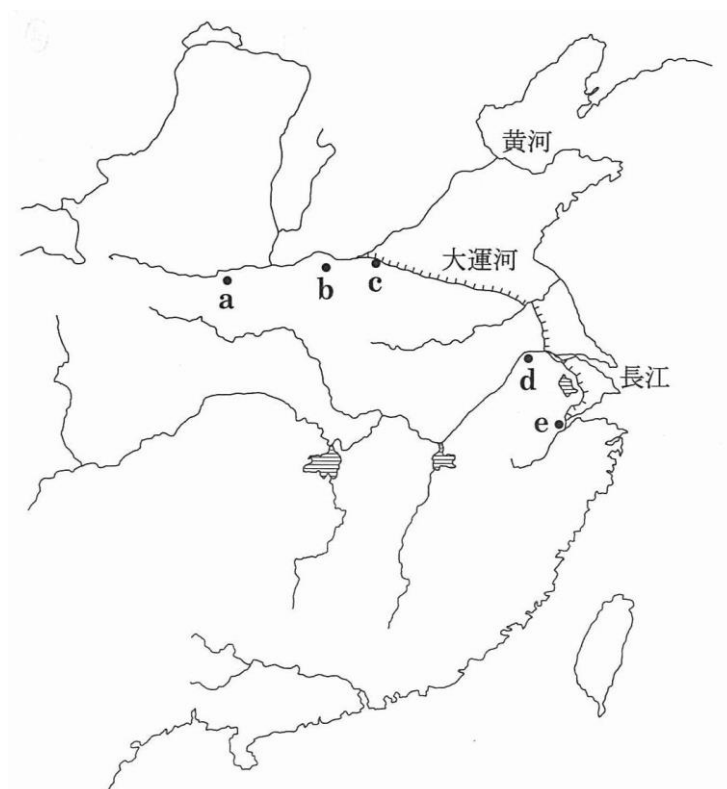


世界史 B

(解答番号 ~)

第 1 問 世界史上の都市について述べた次の文章 **A** ~ **C** を読み, 下の問い (問 1 ~ 9) に答えよ。(配点 25)

A 中国歴代王朝の都には, 全国各地から富や物資が集められた。居住人口のうち官僚や大商人の占める比率が高く, また, 皇帝の居所として計画的に造営されたものもあり, 中国の一般的な都市とは異なる点も少なくない。ただ, 多くの人口を擁する都市の常として, 河川や運河の近くに位置する点は, 現在の大都市にも通じる。次の地図中の **a** ~ **e** は, かつて王朝の都が置かれた都市の位置を示すものである。(図中の海岸線は現代のもの, 大運河は 10・11 世紀における主要ルートを示す。)



問1 地図中に a・b として示された都市の歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① 劉秀(光武帝)は、a を都として漢を再興した。
- ② 唐の都であった a は、街路によって碁盤目状に区画されていた。
- ③ 後漢時代、b の郊外にある竜門に石窟寺院が開かれた。
- ④ 三国時代、蜀が b に都を置いた。

問2 次の文章は、地図中に c として示された都市に都を置いたある王朝について述べたものである。文章中の空欄 ア と イ に入れる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 2

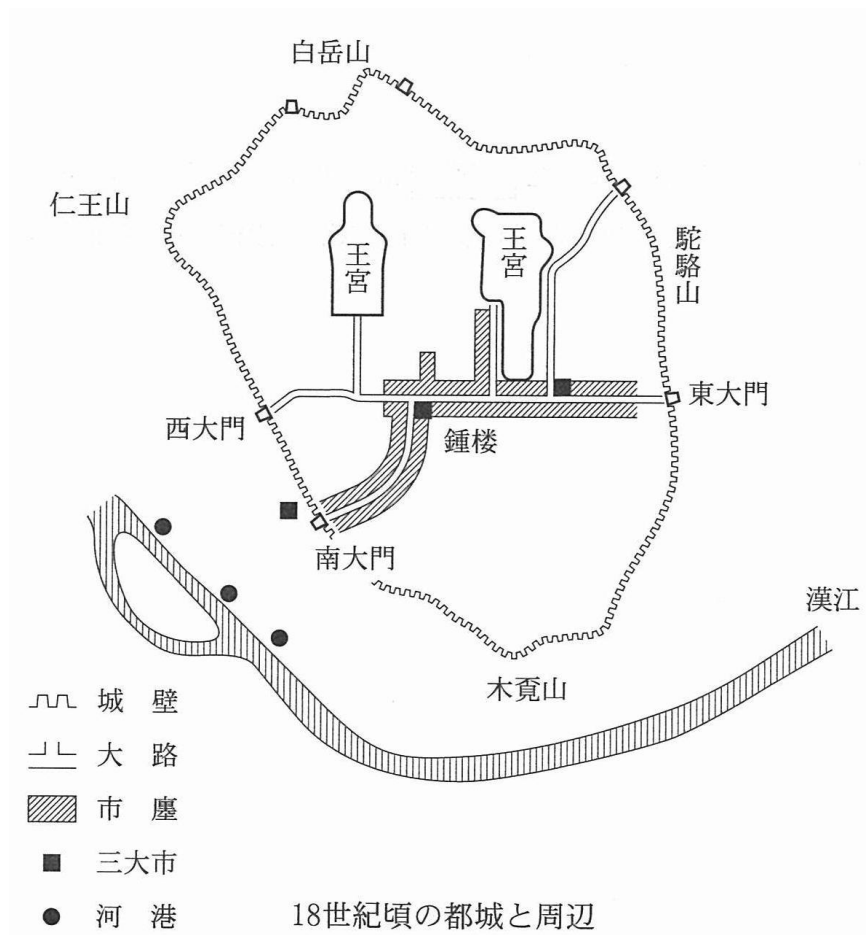
11 世紀後半、皇帝となった ア は、王安石を宰相に抜擢した。王安石は、イ・市易法などの「新法」によって、農民や中小商工業者らの生活を守り、国家財政の再建に努めた。

- | | |
|---------|--------|
| ① アー神 宗 | イー青苗法 |
| ② アー神 宗 | イー一条鞭法 |
| ③ アー徽 宗 | イー青苗法 |
| ④ アー徽 宗 | イー一条鞭法 |

問3 地図中に d・e として示された都市の歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① 辛亥革命は、革命派が d で蜂起して始まった。
- ② 日本は、汪兆銘に d で親日政権を設立させた。
- ③ 司馬睿は、晋を再興して e を都とした。
- ④ 蔣介石は、e で張学良に監禁された。

B 1392 年建国の①朝鮮（李朝）は、都を高麗の ア から イ へ移した。都城の建設にあたっては風水思想が重視され、周囲の山の稜線上に城壁が築かれた（下図参照）。城内は、東大門と西大門を結ぶ大路の北側に王宮・官庁が配され、支配層の家々が^{いらか}甍を連ねた。当初、この大路沿いに商店街（市★）が設置され、都城の南側を流れる漢江の水運により、全国から様々な物資が運び込まれた。②18 世紀には、^{しょうろう}鐘楼・東大門・南大門周辺の「三大市」が人々でにぎわった。一方、新興商人と市★の特権商人の間では紛争が頻発し、18 世紀末には後者の特権が制限されるようになった。この都市は、朝鮮(李朝)時代を通じて政治・経済の中心都市としてぬきんでた地位を占めた。



問 4 文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる都の名の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **4**

- | | |
|-------------|-----------|
| ① アー慶 州（金城） | イー漢 城 |
| ② アー開 城 | イー慶 州（金城） |
| ③ アー開 城 | イー漢 城 |
| ④ アー漢 城 | イー開 城 |

問 5 下線部①の王朝について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **5**

- ① 李舜臣が初代国王となった。
- ② 世界最古とされる金属活字が作られた。
- ③ 訓民正音（ハングル）が制定された。
- ④ 骨品制を採用した。

問 6 下線部②の時期の商業や手工業について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **6**

- a** 中国では、公行という商人組合に外国貿易を管理させた。
- b** フランス革命でギルドが廃止された。

- | | |
|-------|-----|
| ① a－正 | b－正 |
| ② a－正 | b－誤 |
| ③ a－誤 | b－正 |
| ④ a－誤 | b－誤 |

C 18世紀初め、③デフォーはマンチェスターを「最大級の一介の村落」と評した。この「村落」は18世紀後半から商工業の発展と人口の急増を経験し、19世紀半ばには市長と市議会を有する都市へと成長する。同市やその近隣から国会議員に選出されたグラッドストンらは、④自由貿易や経済活動の自由，政治改革を主張し、国政で活躍した。しかし、自由と繁栄の一方で、この地域では人口増加に対して都市機能の整備が追い付かず、貧困や犯罪、ごみ処理などの問題が深刻化してもいた。この点でも、⑤マンチェスターは産業革命期を代表する都市の一つであった。

問7 下線部③の人物の事績について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① 「夜警」で市民の姿を描いた。
- ② 『失樂園』を著した。
- ③ 万有引力の法則を発見した。
- ④ 『ロビンソン=クルーソー』を著した。

問8 下線部④の主張にかかわる思想や政策について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① アダム=スミスは、経済活動の自由に反対した。
- ② リスト（フリードリヒ=リスト）は、国家による経済の保護に反対した。
- ③ コブデンとブライトは、穀物法の廃止を主張した。
- ④ イギリス東インド会社は、インド帝国成立後に商業活動を停止した。

問 9 下線部⑤に関連して、18・19 世紀のマンチェスターについて述べた次の文

a と b の正誤の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

9

① a－正 b－正

② a－正 b－誤

③ a－誤 b－正

④ a－誤 b－誤

第2問 世界史上の貨幣について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い（問1～9）に答えよ。（配点 25）

A 中国では、長らく銅銭が流通していたが、常に①貨幣の主役であったわけではない。②魏晉南北朝時代には、銅銭の不足や粗悪化が見られ、その役割も低下した。隋唐時代に至って銅銭の地位は回復したが、流通量が経済発展に追いつかなかった。宋代になると、銅銭を補うものとして紙幣や鉄銭が用いられ、③16世紀以降は、外国銀の大量流入によって、銀の流通も拡大した。

問1 下線部①の歴史について述べた次の文章中の空欄 **ア** と **イ** に入る語の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

貨幣の鑄造は、アナトリア（小アジア）の **ア** で始まったとされる。図像が描かれたローマなどの貨幣とは異なって、秦の始皇帝の時代に発行された **イ** には文字のみが記され、中央に方形の孔^{あな}があげられていた。

- | | |
|-----------------|-------|
| ① アーリディア（リュディア） | イー半両銭 |
| ② アーリディア（リュディア） | イー五銖銭 |
| ③ アーパルティア | イー半両銭 |
| ④ アーパルティア | イー五銖銭 |

問2 下線部②の時代の文化について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **11**

- ① 韓愈が、古文の復興を唱えた。
- ② 書の分野では、王羲之が著名である。
- ③ 顧炎武が、「女史箴図」を描いた。
- ④ 梁の昭明太子が、『齊民要術』を編纂^{へんさん}した。

問3 下線部③の時期に起こった出来事について述べた文として誤っているものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

12

- ① インカ帝国が滅亡した。
- ② ツォンカパが，チベット仏教の改革を行った。
- ③ ポルトガルが，マカオに居住権を獲得した。
- ④ バーブルが，ムガル帝国を建てた。

B 13・14世紀のユーラシアでは、諸地域にまたがって銀が決済手段として用いられ、各地域の経済を活性化させた。13世紀以降、中国を征服して元を建てたモンゴル人は、銀と④紙幣を主な通貨とする経済政策を採用し、政府が集めた銀を西方との交易に用いた。一方、14世紀の⑤フィレンツェで編纂^{へんさん}された『商業指南』にも、銀を元手に、元支配下の中国から綿織物を仕入れる方法が記されている。また、この時期、交易を通じてヨーロッパから⑥南アジア・東南アジアに流出した銀も、さらに元の支配する地域にまで流れていたとされる。

問4 下線部④について、元が発行した紙幣の名称として最も適切なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。

13

① 布 銭（布貨）

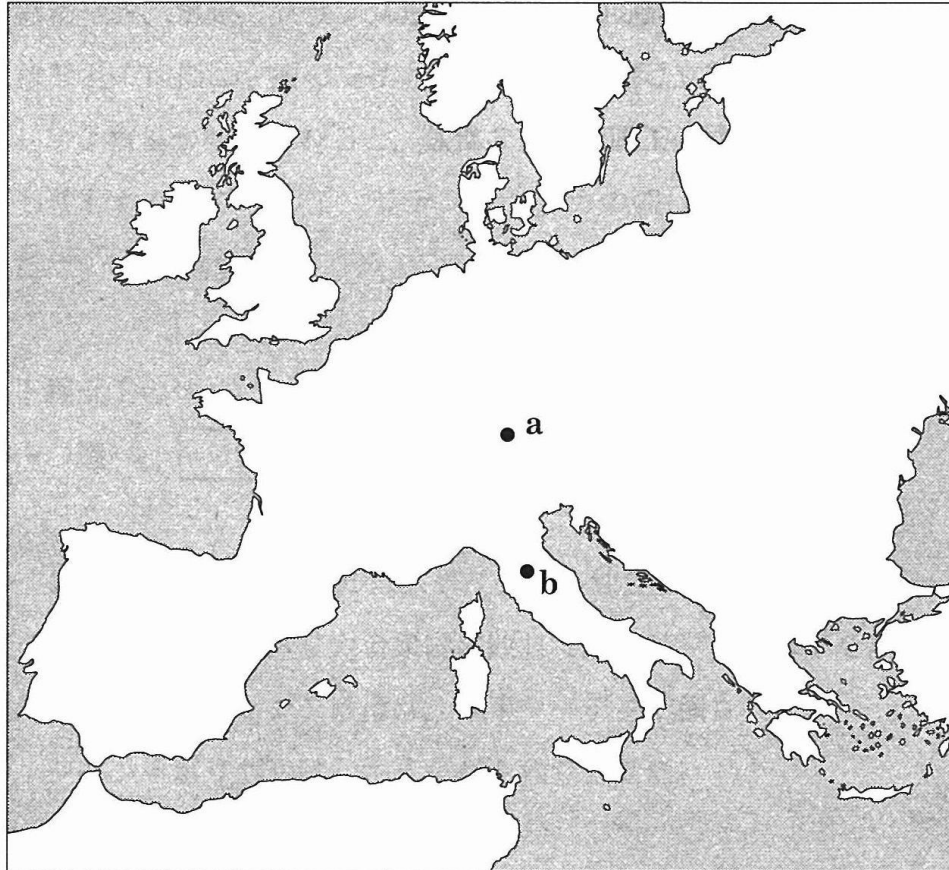
② 会 子

③ 交 子

④ 交 鈔

問5 下線部⑤の都市について，その位置を示す次の地図中の **a** または **b** と，この都市で勢力を拡大した豪商との組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

14



- ① aーメディチ家
- ② aーフッガー家
- ③ bーメディチ家
- ④ bーフッガー家

問 6 下線部⑥に関連して，13・14 世紀の南アジアについて述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

15

- ① デリーに奴隷王朝が成立した。
- ② ソンガイ王国が成立した。
- ③ ブワイフ朝が成立した。
- ④ ヴィジャヤナガル王国が滅亡した。

C ラテンアメリカは、資源に恵まれた地域である。16 世紀半ば、スペイン領でポトシ銀山のような大銀山が次々と発見されると、鉱業が大いに繁栄した。

⑧銀は植民地から様々な名目でスペイン王室へもたらされたが、戦費や国際的金融業者に対する債務の返済に充てられた。一方、植民地に輸入されたスペイン産の織物や鉄、水銀、フランス産やフランドル産の高級織物、⑨アフリカの黒人奴隷などの代価は、銀で支払われた。1570 年代、メキシコとフィリピンを結ぶガレオン貿易が始められると、銀はマニラで取り引きされるアジアの商品の決済にも使われた。こうして、ラテンアメリカの銀は、ヨーロッパとアジアに広まった。

問 7 下線部⑦の地域について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 19 世紀前半、ブラジルはスペインから独立した。
- ② メキシコは、アメリカ合衆国に敗れて、カリフォルニアを割譲した。
- ③ ペルーのアジェンデ政権は、軍事クーデタで倒された。
- ④ シモン=ボリバルは、キューバを独立させた。

問 8 下線部⑧に関連して、金や銀にかかわる出来事について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① ガーナ王国は、銀と塩（岩塩）を交換する交易を行った。
- ② アメリカ合衆国の西部で金鉱が発見され、ゴールドラッシュが起こった。
- ③ 金鉱が見つかったトランスヴァール共和国は、フランスに併合された。
- ④ 世界恐慌が起こると、イギリスは金本位制に復帰した。

問 9 下線部⑨の地域について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

18

a 三度のポエニ戦争の結果，カルタゴはローマに滅ぼされた。

b リビア（トリポリ・キレナイカ）は，ドイツの植民地となった。

① **a**－正 **b**－正

② **a**－正 **b**－誤

③ **a**－誤 **b**－正

④ **a**－誤 **b**－誤

第3問 海運は歴史を通じて重要な交易の手段であり，その支配や航路の確保は政治的に大きな意味を持っていた。海運について述べた次の文章 **A** ～ **C** を読み，下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 25)

A 中国とインドを結ぶ海の交通路に位置する①東南アジアでは，古来，海を通じた交流を盛んに行う王国が幾つも成立した。特に，②15～17世紀のいわゆる「交易の時代」には，交通の要衝であるマラッカ海峡が東西を結ぶ交易の中心として栄え，権益を求める国々の争いの場となった。現在でも，東南アジアの海域は，多くの国々に物資を輸送する③船が行き交う海運の中心として重視されている。

問1 下線部①の地域の歴史について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① オケオは，ピューの港であった。
- ② パガン朝では，上座部仏教が広まった。
- ③ シュリーヴィジャヤは，前漢に使節を派遣した。
- ④ シャイレンドラ朝の下で，マレー半島にボロブドゥールが建てられた。

問2 下線部②の時期における東南アジアの状況について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① モルッカ（マルク）諸島では，アンボイナ（アンボン）事件が起こった。
- ② マラッカは，フランスによって占領された。
- ③ スマトラ島で興隆したアチェ王国は，仏教国であった。
- ④ トゥングー（タウンゲー）朝が，ヴェトナムを統一した。

問 3 下線部③に関連して，古代ギリシアで軍船として用いられた船の種類として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① ジャンク船
- ② ダウ船
- ③ 三段櫓船
- ④ 亀甲船

B インド洋と地中海をつなぐ主な交通路は、二つあった。一つは④ペルシア湾からティグリス・ユーフラテス川を経て、シリアとアナトリア半島の沿岸部に到達する隊商路を利用するルートである。いま一つは、紅海を経て、その周辺の⑤アフリカ大陸北東部、シナイ半島、アラビア半島西岸部の港町を起点とする隊商路を利用するルートである。このルートのうち、スーダンとエジプトの内陸に向かう隊商路は、ナイル川の水運ルートに連絡する。⑥西アジア・地中海世界に現れた政治権力は、これら交通路の支配に、しばしば重大な関心を寄せた。

問 4 下線部④の海域・河川流域で起こった出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① パルティアは、アンティゴノス朝からメソポタミアを奪った。
- ② アッバース朝は、ティグリス河畔に首都バグダードを建設した。
- ③ オスマン帝国は、ティムール朝からイラクを奪った。
- ④ ムガル帝国は、ポルトガル人をホルムズ島から駆逐した。

問 5 下線部⑤の地域における 19 世紀の状況や出来事について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① ムハンマド=アリーは、スーダン（東スーダン）を支配した。
- ② レセップスの指導で、スエズ運河が建設された。
- ③ イタリアは、エチオピアを併合した。
- ④ ドイツは、カメルーンを獲得した。

問6 下線部⑥に関連して、16世紀のオスマン帝国と紅海とのかかわりについて述べた次の文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **24**

オスマン帝国は、 **ア** の治世にマムルーク朝を滅ぼしてその領土を併合し、イスラームの二つの聖都メッカと **イ** を保護下に置いた。その後、紅海の南端まで拡大したオスマン勢力の下で、この海域を経由する商品流通が活発になった。

- | | | |
|---|-----------|--------|
| ① | アースレイマン1世 | イーメディナ |
| ② | アースレイマン1世 | イーリヤド |
| ③ | アーセリム1世 | イーメディナ |
| ④ | アーセリム1世 | イーリヤド |

C 16 世紀後半にスペインに対して反旗を翻したオランダは、優れた造船技術を武器にして、東ヨーロッパの穀物・木材と西ヨーロッパの塩・ニシン・工業製品などを交換する⑦バルト海貿易を掌握し、富を蓄えた。1602 年に連合東インド会社を設立するなどヨーロッパ以外の地域との⑧貿易にも本格的に乗り出したオランダは、毛織物・麻織物工業も発展させつつ、周辺諸国に対して優位に立った。そのオランダに後れを取っているという意識を持っていたイギリスは、オランダにならって海上貿易の発展に努め、18 世紀中ごろの⑨七年戦争などを経て、ヨーロッパ屈指の強国となった。

問 7 下線部⑦に関連して、バルト海沿岸の国や地域の歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① エストニアは、第二次世界大戦中にソ連に併合された。
- ② ロシアでは、ピョートル 1 世の治世下でプガチョフの乱が起こった。
- ③ プロイセンでは、ヨーゼフ 2 世が啓蒙思想に基づいた改革を行った。
- ④ クヌート（カヌート）は、9 世紀にイングランドを征服した。

問 8 下線部⑧に関連して、航海や貿易について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① オランダのグロティウスは、『海洋自由論』を著した。
- ② イギリスは、航海法によってオランダに打撃を与えようとした。
- ③ 保護貿易を強化する目的で、G A T T（関税および貿易に関する一般協定）が結ばれた。
- ④ フランスは、世界恐慌への対応策としてフラン=ブロックを形成した。

問 9 下線部⑨の戦争について述べた文として最も適切なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

- ① この戦争の結果，カナダはデンマーク領となった。
- ② オーストリアは，フランスと同盟した。
- ③ パリ条約によって，スイスは永世中立国となった。
- ④ アウステルリッツの戦いで，ロシアが敗れた。

第4問 権威や秩序に対する民衆の不満や抵抗は、社会運動、政治運動さらには宗教運動と、時代と地域によって、様々な形をとった。各地における民衆のそうした異議申し立てについて述べた次の文章 **A～C** を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 25)

A 14世紀から15世紀にかけてヨーロッパは、大きな危機と停滞の時代を迎えた。14世紀半ばにはペストが大流行し、その後も断続的に人々を襲った。さらに、百年戦争と呼ばれる長期の戦乱は、フランスの各地を荒廃させた。こうした中で農民は、領主による封建的支配の強化に対して、①大規模な一揆によって反抗した。一方、②教会のあり方が批判され、16世紀になると宗教改革の気運が高まった。ルターの説に影響を受けた人々は、聖書を根拠に農奴制の廃止などを求めて、③ドイツ農民戦争と呼ばれる反乱を起こした。最初これに同情的であったルターは、やがて諸侯の側に立ち、要求を急進化させた人々を厳しく批判するようになった。

問1 下線部①に関連して、ヨーロッパの各地で起こった抗争や反乱について述べた文として波線部の正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① デンマークで、シモン=ド=モンフォールが貴族を率いて王に対抗した。
- ② ベーメン(ボヘミア)で、教皇権を批判するフス派の反乱が起こった。
- ③ イギリスで、ジャックリーの乱が起こった。
- ④ イタリアで、ジョン=ボールが農民一揆の思想的指導者となった。

問2 下線部②に関連して，15世紀の教会をめぐる動きについて述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 教皇と皇帝ハインリヒ4世の間で，叙任権闘争が起こった。
- ② 教皇庁が，アヴィニョンに移された。
- ③ コンスタンツ公会議で，教会大分裂が収拾された。
- ④ ウィクリフが，教会改革を主張した。

問3 下線部③の反乱について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 30

- a ツヴィングリは，この反乱を指導した。
- b シュマルカルデン同盟が，この反乱に対抗した。

- ① a－正 b－正
- ② a－正 b－誤
- ③ a－誤 b－正
- ④ a－誤 b－誤

B ハンガリーの首都で、ア年 10 月 23 日、政府に対する大規模な抗議行動が起こった。人々は、学生たちの呼びかけを機に、ポズナニ（ポズナン）のストライキから始まった④ポーランドでの動きに共感を示すため、⑤1848 年革命で戦ったポーランド人軍事指導者ベムの像までデモ行進をした。その後、前年失脚したナジ=イムレの復帰を国会前広場で要求し、ラジオ局を占拠し、スターリン像を倒した。24 日にソ連軍が介入するが、ナジは首相に就任し、複数政党制を認め、ワルシャワ条約機構からの脱退を宣言した。しかし、こうした動きは、11 月のソ連の軍事介入によって鎮圧された。

問 4 次の年表に示した **a** ～ **d** の時期のうち、文章中の空欄アに入れる年を含む時期として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。31

1917 年	ロシア十月（十一月）革命
a	
1947 年	コミンフォルム結成
b	
1964 年	フルシチョフ解任
c	
1989 年	ベルリンの壁開放
d	

- ① a ② b ③ c ④ d ⑤ e

問 5 下線部④の国の歴史について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① ヤゲウオ（ヤゲロー）朝断絶後，選挙王制（選挙王政）となった。
- ② 19 世紀後半に，独立を回復した。
- ③ ドイツへの侵攻をきっかけに，第二次世界大戦が始まった。
- ④ 「連帯」の指導者コシューシコ（コシチューシコ）が，大統領に選出された。

問 6 下線部⑤に関連して，1848 年に起こった出来事について述べた文として誤っているものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① ロシアで，「ヴ=ナロード（人民の中へ）」を標語とする運動が起こった。
- ② オーストリアで，メッテルニヒが失脚した。
- ③ フランクフルト国民議会が開催された。
- ④ フランスで，第二共和政が成立した。

C 中国の歴代王朝の統治下にあって、人々はしばしば重税や過酷な労役負担に異議を唱えた。納税拒否や小作料不払いなどの日常的な抵抗が広範に発生する一方、農民による大規模な⑥反乱が王朝に衰退をもたらし、これを滅亡させることもあった。こうした農民反乱の一部は、⑦宗教に依拠し、自らの主張を正当化したが、王朝時代の記録は、農民反乱を「流寇^{りゅうこう}の乱」などと記し、否定的な評価しか与えなかった。しかし、⑧中華人民共和国が成立すると、同国の多くの歴史学者は、農民反乱を「反封建闘争」として肯定的に評価するようになる。

問7 下線部⑥について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 始皇帝の死後、陳勝・呉広の乱が起こった。
- ② 後漢で、太平道が黄巾の乱を起こした。
- ③ 北宋で、黄巢が反乱を起こした。
- ④ 李自成の反乱軍が北京を占領し、明朝は滅んだ。

問8 下線部⑦について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 35

- a** 唐の寇謙之により、道教教団が組織された。
- b** 西夏で、全真教が興った。

- ① **a**－正 **b**－正
- ② **a**－正 **b**－誤
- ③ **a**－誤 **b**－正
- ④ **a**－誤 **b**－誤

問 9 下線部⑧の国について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

36

- ① アメリカ合衆国と友好同盟相互援助条約を締結した。
- ② プロレタリア文化大革命が起こり，毛沢東は失脚した。
- ③ 日中平和友好条約により，日中の国交正常化が実現した。
- ④ 天安門事件（第 2 次天安門事件）で，民主化運動が鎮圧された。

【解説】

第1問 世界史上の都市

A

問1～問3は中国歴代王朝の都に関するものであるが、後見返しの「中国史のまとめ」の[2]を見ればわかるとおり、都市名そのものも変遷するので注意を要する。隋唐代までの都は、魏晋南北朝時代のような分裂期を除いて、長安(大興城・鎬京)か洛陽(洛邑)に置かれる。これは、黄河流域の穀倉地帯を背景にしている。しかし、宋代以降は、長江流域の穀倉地帯の発展や大運河の整備によって、これらに近い開封・臨安・北京・南京が都となる。後見返しの地図を見て、河川や運河と都との位置関係を把握して欲しい。

問1 正解② (長安と洛陽の歴史) 1

- ①P. 110 の[1]の年表で確認。都の変遷は緑字で示されている。光武帝は漢の再興にあたって洛陽(b)を都とした。当時、長安に比べて経済的機能が高かったと考えられている。
- ②P. 119 参照。唐長安城の巨大さに注目。また、街路整備を含めたプランが日本の都城に採り入れられたことは、よく知られている。
- ③P. 114, 115 参照。三大石窟の場所は必須事項であるから、対応する都市名とともに整理したい。造営が始まった南北朝時代の中国仏教の姿を反映している。
- ④P. 114 の地図[A]参照。蜀は内陸を支配し、都は成都であった。

問2 正解① (開封と王安石の新法) 2

宋の都は特殊で、北宋時代の開封(c)、南宋時代の臨安(e)ともに、統一王朝の都としては一代限りである。後見返しの「中国史のまとめ」参照。ただし、地図を見るとわかるとおり、開封は大運河と黄河の結節点、臨安(杭州)は運河の南端付近に位置しており、経済的重要性は大きい。

王安石の新法はP. 152 の[2]に詳しい。農業関係の青苗法・募役法、軍事的な保甲法・保馬法、商業面の均輸法・市易法のように分類しておくのも、1つの方法であ

る。王安石については、神宗に登用されたことはもちろん、司馬光との対立、唐宋八大家の一人であることなども、把握しておきたい。

ちなみに、明代の神宗は万暦帝のことで、一条鞭法の施行で知られている。P. 166 の¹参照。

問 3 正解② (南京・杭州の歴史) 3

①P. 251 の地図^B参照。四川暴動や武昌蜂起の位置を確認しておきたい。これ以外に辛亥革命期では、北京・南京の出来事を区別しておく必要がある。

②P. 281 の年表および P. 275 の地図^C参照。日中戦争に関しては、盧溝橋事件・柳条湖事件などの位置も重要であるが、南京虐殺や汪兆銘政権など南京を舞台とした事柄も大切である。

③P. 114 参照。東晋の都は建康(d, 南京)である。司馬睿・司馬炎・司馬遷は間違いやすいので整理しておきたい。

④P. 274 の¹の年表で、この文が西安事件を示していることを確認できる。西安はかつての長安である。後見返しの「中国史のまとめ」で確認しておきたい。

B

問 4 正解③ (高麗と朝鮮の都) 4

P. 174 の年表で王都の変遷を確認。朝鮮半島は中国の影響の大きい場所である。年表中の青字が文化史であるから、仏教・儒教関係を中心に整理し、各国のイメージを高めておきたい。

問 5 正解③ (朝鮮の歴史) 5

①P. 175 に李舜臣の人物コラムがある。②～④の各事項も P. 174 の年表を見れば確認できる。

問 6 正解① (18 世紀の出来事) 6

a P. 170 の1を見ないと、康熙帝が広州に公行を創立したことを確認できる。ここを通じた外国との貿易の様子は、P. 248 の2を参照。ちなみに、公行の廃止によって自由貿易への一歩が踏み出されるのは、南京条約の時である。これは、P. 250 の表で確認できる。

b ギルドの仕組みや問題点については、P. 144 の4に詳しい。フランス革命が典型的な市民革命であり、ギルド的規制がブルジョワジーの不利益につながることを想起したい。

C

問7 正解④ (デフォー) 7

文化史をうまく把握するには、時代背景や政治史との関係を整理し、枠組みをイメージするのが近道。やみくもに覚えようとするだけでは、なかなか難しいので、教科書や図表の解説文も大切に利用したい。

- ①P. 208 参照。レンブラント「夜警」はバロック絵画。バロックの特徴は、異なる二つの要素の混在にある。図表には大きく掲載されているので、絵画の中央付近がスポットで照らされたように浮かび上がる、明暗の技法を感じてもらいたい。
- ②P. 209 参照。ミルトン『失樂園』はピューリタン文学の代表的存在。
- ③P. 206 参照。ニュートンの発見は、ヨーロッパ自然科学の発展を象徴する。
- ④P. 209 参照。イギリスでは、市民的な文学の発展も早期に訪れた。デフォー『ロビンソン=クルーソー』は、イギリス風刺文学の好例。

問8 正解③ (自由貿易や経済活動の自由) 8

- ①P. 207 参照。アダム=スミスは重農主義を批判的に受け継ぎ、自由放任を唱えた。
- ②アダム=スミスの経済学はリカードやマルサスに受け継がれた。P. 240 参照。一方、「先進国」イギリスと違って、国内の統一の遅れていたドイツでは、保護主義を基調とする経済学が生じる。リストは保護貿易を主張し、ドイツ関税同盟の成立に貢献した。
- ③19世紀前半のイギリスは、ウィーン体制という保守的な秩序の中にあって、自由主義をめざす特異な存在である。P. 226 の①や②で主な政策を整理したい。審査法廃止・第1回選挙法改正・穀物法廃止・東インド会社解散など、順序も大切である。
- ④イギリスのインド支配は頻出事項。ここも、事項の順序が大切である。P. 244 の①で、プラッシーの戦い・ベンガルなどの徴税権獲得・東インド会社の商業活動停止・インド大反乱・東インド会社解散・インド帝国成立などの事項を、ピックアップして意義を理解したい。

問9 正解① (マンチェスター) 9

P. 213 の 1を見ると、18 世紀末までに綿工業の革新を一段落させたイギリスが、19 世紀に入ると、交通革命に向かったとわかる。中でも重要な役割を果たしたのが、綿工業都市マンチェスターと綿花輸入港リヴァプールを結ぶ鉄道である。P. 214 に地図がある。この 2 都市は人口増加も特に著しく、P. 214 のグラフでそれを確認できる。

第2問 世界史上の貨幣

A

問1 正解① (リディアの貨幣鑄造と秦の半両錢) 10

リディアの鑄造貨幣については P. 75 参照。アッシリア滅亡後の4王国分立の時代に関しては、地図的な把握も不可欠であるから、同時に見ておきたい。

中国の春秋戦国期の青銅貨幣については P. 107 参照。秦代の半両錢は P. 109, 武帝期の五銖錢は P. 110 にある。

問2 正解② (魏晉南北朝時代の文化) 11

①P. 118 を見ると、韓愈・柳宗元は唐宋八大家に属することがわかる。彼らの唱える古文復興が、魏晉南北朝時代の四六駢儷体に対するものであることを理解しておけば、時代感覚もつかみやすい。

②王羲之の書は P. 115 にある。唐代の顔真卿と区別できるようにしたい。

③女史箴図は顧愷之の作と伝えられる。P. 115 に載っている。

④南朝の貴族的な文化に対する、北朝の実用的な文化、という図式はイメージしておきたい。P. 115 の表を見てほしい。『齊民要術』は北朝実学の代表的著作。

問3 正解② (16世紀の出来事) 12

P. 44, 45 を見ると、①③④が正しいのはわかる。

チベット仏教と中国・モンゴルとの関係は盲点になりやすい。P. 121 には唐の太宗と吐蕃のソンツェン=ガンポの関係、P. 171 にはチベット仏教の改革が載っている。

B

問 4 正解④ (元代の紙幣) 13

布銭は韓・魏・趙で流通した青銅貨幣であり，紙幣ではない。P. 107 参照。中国における貨幣の変遷については後見返しの「中国王朝の変遷」にまとめられているので，見ておきたい。

問 5 正解③ (フィレンツェの位置とメディチ家) 14

中世以降のヨーロッパ都市の繁栄は，商業の発展と切り離すことができない。P. 144 で，フランドル地方・シャンパーニュ地方・北ドイツ・南ドイツ・北イタリアのそれぞれの役割，主な都市などを整理しておきたい。

アウクスブルク (a) は銀の産地で，メキシコ銀の登場以前に重要な役割を果たす。ここで権勢をふるったのがフッガー家である (P. 144 の 2 参照)。また，フィレンツェとメディチ家の関係，さらにイタリア=ルネサンスとの関わりについては，P. 189 に詳しい。

問 6 正解① (13・14 世紀の南アジア) 15

今年度のセンター試験では，このように横の関係を問うものが目につく。P. 39 を利用して，①が正しいことを確認できる。ヴィジャヤナガル王国はムガル帝国と対抗したヒンドゥー国家であり，P. 180 の 1 の年表で横の関係を確認しておきたい。近年，東南アジア史が注目されてきた関係で，南インドのことも話題にのぼることが増えつつある。盲点を無くするため，P. 99 の 2 なども活用して欲しい。

C

問7 正解② (ラテンアメリカの歴史) 16

- ①ラテンアメリカの独立については P. 224 参照。ブラジルはポルトガルからの独立である。スペイン以外からの独立としては、ハイチにも注目。
- ②P. 234 の地図[A]を見て、アメリカの領土拡大過程について、どここの国から得たか、割譲で得たか、買収で得たか、などの視点から整理したい。メキシコの割譲範囲は、旧フランス領(ミシシッピ川以西のルイジアナ)に匹敵する大きさ。
- ③ラテンアメリカの戦後史まで手の回らない受験生も多いと思うが、アメリカの影響力の強い地域であるが故に、アメリカへの反発、あるいは、アメリカに支えられた資本家や地主に対する反発の存在も無視できない。P. 307 を見ると、そのような背景を含めて、ラテンアメリカ諸国の政体分類が載っているので、参考にしたい。アジェンデ政権は、チリの人民連合政権。
- ④P. 224 の地図[A]でシモン=ボリバルの進路を確認。キューバはアメリカ=スペイン(米西)戦争の時に、アメリカの保護下で独立する。

問8 正解② (金や銀にかかわる出来事) 17

- ①ガーナ王国については P. 131 に詳しい。サハラ交易は金と塩の交換で栄えた。
- ②P. 234 の年表参照。ゴールドラッシュは、未開拓地を無くす重要な契機ともなった。
- ③トランスヴァール共和国とオレンジ自由国は、オランダ系ブール人の国家で、イギリスの植民地と化していく。P. 257 を見て、南アフリカ戦争の経過や3C政策との関わりを確認したい。
- ④恐慌に際しては、国際収支のバランスを取る意味で、金本位制の停止が必要とされた。P. 276 の[3]で、米英仏が共通して停止に踏み切っていることを確認したい。

問9 正解② (カルタゴとリビア) 18

- a P. 88 参照。ポエニ戦争の勝利が、土地問題などを引き起こし、ローマの共和政に大きく影響したことも、同時に確認したい。
- b アフリカ分割の基本事項である。P. 257 の地図を何度も確認して、「慣れてしまう」

のが近道。

第3問 海運の歴史

A

問1 正解② (東南アジアの歴史) 19

東南アジア史は近年、教科書での扱いも増加しており注意を要する。

商業的な側面から、港市国家の概念を把握することが必要で、P. 103 の[4]を参照したい。また、商業の発展は、様々な政治制度や宗教の浸透をもたらした。基本事項として、ヒンドゥー系・大乘仏教系・上座仏教系・儒教系・イスラーム系の整理くらいはしておきたい。これも、P. 102 の下の年表で色分けされている。

①オケオそのものの解説は P. 103。港市としての役割をきっちり確認するため、P. 17 の地図も参照して、交易ルートとの関わりを把握したい。ピューはビルマに存在していた。全体地図では P. 23 の地図くらいから登場する。

②11 世紀以降の東南アジア大陸部は、上座仏教化を含めた変革の波に覆われる。その起点とも言うべきパガン朝は重要な存在。P. 35 や P. 102 を参照。

③シュリーヴィジャヤはスマトラ島を中心に繁栄した港市国家(P. 103 の写真③参照)。息の長い国家で、P. 27 以降、各世紀の地図によく登場している。P. 27 では義浄のルートの確認、P. 29 ではシャイレンドラ朝との関係、P. 35 ではチョーラ朝からの遠征など、注目事項も多い。

④アンコール=ワットとボロブドゥールは頻出事項である。P. 101 で解説も含めた確認をしておきたい。

問2 正解① (15～17 世紀の東南アジア) 20

①P. 211 の地図[A]と地図[B]を見比べて、列強間の勢力の移り変わりを確認したい。

アンボyna事件は、香辛料の産地で起こったイギリス・オランダ間の事件。

②マラッカはポルトガル領からオランダ領になる。P. 44～49 を見ると、これに並行して、周辺にアチェ・バンテン・マタラムのイスラーム国家が成立したこともわかる。

③前述の通り、アチェはイスラーム系。ヨーロッパ諸国の東南アジア進出に対して、アチェなどイスラーム諸国家が対抗した(P. 169 の地図[D]参照)

④ P. 102 の下の年表で明らかなように、ベトナムを統一するのは黎朝。

問 3 正解③ (古代ギリシアの軍船)

21

①②P. 159 参照。

③P. 81 参照。

④P. 175 参照。

これら以外にも、ヴァイキングの船が P. 136, ガレオン船が P. 187 に載っている。

B

問 4 正解② (ペルシア湾, ティグリス・ユーフラテス川) 22

- ①P. 76 の年表や地図で, パルティア・ササン朝が東西で対峙した国家を確認しておきたい。
- ②バグダードは単にティグリス河畔というだけでなく, キャラバン=ルートとの結節点にもなっていた。P. 123 参照。
- ③P. 178 で, アンカラの戦いを確認。ティムールに対する敗北は, 帝国の中断をもたらした。
- ④ホルムズはペルシア湾に位置する。P. 176 の年表で, サファヴィー朝のアッバース 1 世がポルトガル人の追放を達成したことを確認し, イスファハーンへの遷都も含めて, 王朝の繁栄ぶりをイメージしておきたい。

問 5 正解③ (19 世紀のアフリカ大陸) 23

- ①P. 243 を見て, エジプトがアラビア半島やスーダンに勢力を伸ばしていることを確認したい。エジプト=スーダンはやがてイギリス領となった(P. 257 参照)。
- ②スエズ運河については, P. 243 のコラムに詳しい。
- ③イタリアは 19 世紀末, アドワの戦いに敗れる(P. 257 参照)。一般に, エチオピア併合と称される出来事は, 第二次世界大戦の直前のもので, P. 279 の地図Bで確認できる。
- ④P. 257 の地図参照。

問 6 正解③ (16 世紀のオスマン帝国と紅海) 24

P. 178 で, 歴代スルタンの治世を整理したい。メフメト 2 世以前に支配したのは概ね, アナトリアとバルカンである。メフメト 2 世の時代にコンスタンティノープルを陥落させ, 黒海の周囲を支配する。セリム 1 世時代にマムルーク朝を滅ぼしたことでメッカ・メディナを庇護下におさめ, イスラーム国家としての地位を高めた。スレイマン 1 世時代は, 北アフリカ支配とハンガリー支配に特徴がある。

C

問 7 正解① (バルト海沿岸の国や地域の歴史) 25

- ①P. 280 の年表で、ソ連のポーランド侵攻とバルト 3 国併合を確認したい。この後、ドイツ軍がバルカン半島に入り、独ソ戦につながったことも見ておきたい。
- ②P. 204 で、エカチェリーナ 2 世が啓蒙専制君主の一人であること、一方で、プガチョフの乱以降に農奴制を強化したこと、を確認しておきたい。あわせて、農奴制と関係の深いコサックやステンカ=ラージンの乱についても見ておいてほしい。
- ③ヨーゼフ 2 世はオーストリアの君主。P. 202 の年表参照。プロイセンの代表的啓蒙専制君主はフリードリヒ 2 世。P. 202 の年表で、オーストリア継承戦争・七年戦争に勝利したことを確認したい。
- ④P. 136 の 2 参照。アングロ=サクソン七王国の成立以降、ノルマン系の侵入が相次ぐ。アルフレッド大王に撃退されたデーン人、デンマーク王子クヌートによる征服、ノルマン=コンクエストなどの事項を順序よく整理してほしい。

問 8 正解③ (航海や貿易) 26

- ①グロティウスについては、P. 200 を参照。
- ②P. 205 でクロムウェルについて確認。ジェントリ出身のクロムウェルは、アイルランド征服や航海法制定など、イギリス経済の利益となる政策を進めた。この時期に勃発したイギリス=オランダ(英蘭)戦争は、イギリスに覇権がうつる契機の一つとなった。
- ③P. 283 の 2 参照。G A T T は I B R D ・ I M F とともに、戦後の経済秩序の基礎となった。目的は自由貿易の推進である。
- ④P. 276 の 3 で、植民地を利用した恐慌対策を確認。日本・ドイツ・イタリアなどファシズム化していった国々との違いを整理しておきたい。

問 9 正解② (七年戦争) 27

七年戦争は、オーストリア・ハプスブルク家がプロイセンに対抗するため、宿敵フランス・ブルボン家と結んだのがポイント。P. 203 で七年戦争の構造を理解したい。また、P. 211 の「第 2 次英仏百年戦争」でわかるように、七年戦争はフレンチ=イ

ンディアン戦争と並行している。この結果 1763 年のパリ条約で、カナダやミシシッ
ピ川以東のルイジアナが、仏領から英領になった。

アウステルリッツの戦いはナポレオンの時代。P. 220 参照。

第4問 民衆の異議申し立て

A

問1 正解② (ヨーロッパ各地で起こった抗争や反乱) 28

- ①シモン=ド=モンフォールの反乱は、イギリス議会政治の発展の流れで出てくる。
歴代国王と貴族・市民側の動きを P. 148 の 2 で整理しておきたい。
- ②アナーニ事件や教皇庁のアヴィニョン移転に示される教皇権の衰退は、ウィクリフやフスの教会批判を生み出した。P. 146 で確認し、さらに、P. 194 の年表で、宗教改革へのつながりも見ておいて欲しい。
- ③④P. 146 の 1 参照。ジャックリーの乱・ワット=タイラーの乱は、中世末期の変化、つまり封建制の崩壊過程の中で理解したい。図式を有効に利用して欲しい。

問2 正解③ (15世紀の教会をめぐる動き) 29

歴史的事象の順序に注意。P. 148 の年表を見ると、以下の流れがわかる。

14世紀初頭にアナーニ事件
その直後、教皇のバビロン捕囚=アヴィニョン移転
14世紀後半から教会大分裂
14世紀末から15世紀初頭にかけてウィクリフ・フスの教会批判
1414年からのコンスタンツ公会議でフスの火刑と教会大分裂の収拾

- ①だけは11世紀の出来事である。

問3 正解④ (ドイツ農民戦争) 30

- a ドイツ農民戦争については P. 194 参照。指導者はトマス=ミュンツァーである。
- b シュマルカルデン同盟は、カール5世のルター派に対する態度が原因で結成された。P. 194 の年表を見ると、時期的にはドイツ農民戦争より遅い。

B

問 4 正解② (ハンガリーの反ソ暴動) 31

P. 310 の年表にある、1953 年スターリン死去、1956 年フルシチョフのスターリン批判、の 2 項目に注目。これらを契機に、東欧諸国で自由化を求める動きが高揚することを、P. 311 の年表で確認して欲しい。なお、フルシチョフの解任の背景には、キューバ危機での対応や中ソ論争発生があると考えられる。これも年表で確認できる。

問 5 正解① (ポーランドの歴史) 32

P. 140 の年表で、ポーランドとリトアニアの連合やドイツ騎士団との関係を確認してほしい。16 世紀以降のポーランドの歴史については、P. 203 の 3 を参照。

①P. 203 参照。選挙王制による政治の混乱から列強によるポーランド分割を招いてしまう。

②18 世紀末に周辺国によって分割されたポーランドは、ナポレオン支配下でワルシャワ大公国の成立をみた(P. 221 の地図 A)。さらにウィーン体制下でロシアの支配下に入った後(P. 222)、第一次世界大戦でようやく独立する(P. 266)。

③P. 280 など確認。ドイツ軍がポーランドに進撃している。

④コシュエシコについては、P. 203 参照。ポーランド分割に抵抗した英雄。「連帯」を発足させたワレサ議長は、社会主義体制崩壊の波の中で、1990 年大統領となる。P. 311 参照。

問 6 正解① (1848 年の出来事) 33

ウィーン体制崩壊を象徴する 1848 年は、極めて重要な年号である。P. 222 の 3 をよく見てほしい。社会主義の台頭など、経済面の変化も存在する。ロシアのナロードニキ運動は、農民を啓蒙して社会主義的改革をめざすものであり、社会主義思想が生じた後、1870 年代の動きである。P. 256 でロシアの行を見ておきたい。

C

問 7 正解③ (中国の農民反乱) 34

中国諸王朝に関する整理は必須。後見返しに「中国王朝の変遷」があるので、うまく活用したい。

問 8 正解④ (中国の宗教) 35

a P. 115 の②で確認。寇謙之の新天師道は北魏太武帝の保護を受けた。魏晋南北朝時代は仏教も盛んであるから、南朝と北朝で活躍した渡印僧・渡来僧なども整理したい。

b 中国各王朝における、儒教・道教の変遷も必須事項なので、後見返しを利用して欲しい。全真教は華北支配下の金で成立した。

問 9 正解④ (中華人民共和国の歴史) 36

P. 294 の年表を参照。

①中ソ友好同盟相互援助条約は 1950 年。

②文化大革命については、毛沢東・劉少奇らの動きを含めて解説文を読んでおきたい。これは P. 295 に詳しい。文化大革命は中国を混乱させるが、建国以来の立役者である毛沢東・周恩来が死去し、鄧小平が政界に復活する 1970 年代後半から、中国の様子が変わり始める。改革開放路線についても、写真⑩の解説文を見てほしい。中国の目覚ましい経済成長の原点である。

③日中国交正常化については、P. 290 の②で、アメリカのデタント外交との関係を確認したい。対ソ連の軍事的封じ込めに限界を感じたニクソン大統領の訪中は、日本やソ連に衝撃を与えた。ニクソン訪ソや日中国交正常化は、この流れで理解して欲しい。日中平和友好条約は、鄧小平復活直後の調印で、国交正常化とは別物。

④中国経済発展の裏にある政治の閉鎖性・非民主性は、少数民族の暴動や天安門事件を引き起こしてきた。P. 295 の写真⑨は、全世界に配信され、中国政府は激しい非難を浴びた。